

令和4年度 子どもごみ減量講座実施結果概要

■ テーマ

絵本で出会う3R～しゃもじいさんと育む「ものを大切にする心」～

■ 概要

ものを大切にする心を伝える人気絵本「しゃもじいさん」。講座前半では、作者かとうまふみ先生による絵本朗読の後、作品に込めた想いなどを話していただきました。後半のワークショップでは、かとうまふみ先生と一緒に、不用になった布やボタンなどを使って、親子で楽しく指人形を作りました。講座を通して、子どもたちの「ものを大切にする心」を育みました。

■ 講座の詳細

絵本作家かとうまふみさんを講師に、子どもが興味・関心をもって“ごみ減量・3R”について考えるきっかけとなるよう、体験型の講座を実施しました。

講座は、使われなくなったしやもじのしゃもじいさんが、新しい働き場所をもとめて仲間と旅にでる絵本「しゃもじいさん」の読み聞かせからスタートしました。真剣に聞き入っていた子どもたちは、「ものを大切にしたい」、「古い物でも再利用すれば何度も使えることが分かった」等の感想がありました。また、かとう先生から「しゃもじいさんを書いたきっかけ」、「登場キャラクター秘話」等、絵本にまつわるお話を伺いました。

引き続き、保護者の方も一緒に考える「3Rクイズ」を行いました。「札幌市民一人・一日当たりの家庭ごみの排出量は?」、「1リットルの牛乳パック何枚でトイレットペーパー1個ができる?」等、身近な環境問題をクイズ形式で楽しみながら学びました。

最後は、親子で指人形を作るワークショップを行いました。まず、事前に講師が紙粘土で作った様々な形の頭に色付けをし、その後、参加者や講師が持参した家庭で使わなくなった布やボタン、リボン、ビーズなどを使って体部分を作り完成させました。

「使わなくなったものでも、指人形が作れてびっくりした」、「使い捨ての布やかざりでも、組み合わせによりきれいがかわいい指人形がつくれてうれしい」等の子どもたちの感想から、指人形作りを通してリユースを身近に感じてもらえたようです。

当事業について、保護者より「こういった活動を継続していただき、ごみ減量につながっていくことを願っています」との応援メッセージもありました。

● 「しゃもじいさん」のお話に
聞き入る子どもたち



● 指人形作りに夢中な保護者へ、かとう先生から嬉しいアドバイス



● 何問できたかな?
「3Rクイズ」に挑戦!



● 不用になった布やボタン
などを使った世界に一つだけ
の指人形たち

